

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

人材交流

- ・ 国立国際医療研究センター(NCGM)からPMDAへの派遣者は計12名、PMDAからNCGMへの派遣者は計3名である。
- ・ PMDAへの派遣者は帰任後に、臨床研究センターを中心に配属され、全員が臨床研究の推進、医薬品・医療機器等の開発支援に貢献している。
- ・ NCGMへの派遣者は帰任後に、審査・安全対策等部門の業務に貢献している。
- ・ NCGM病院薬剤部における長期研修及び治験管理部門におけるGCP長期研修への派遣者は、研修終了後、医療現場での経験を踏まえ安全対策業務及び信頼性調査に関係する業務に貢献している。

人材育成

- ・ PMDA職員を対象として治験管理業務、倫理審査委員会等の見学研修を実施した。
- ・ アジア国際共同臨床研究・試験ネットワーク(ARISE)国際シンポジウムをPMDAとNCGMが共催した。

共同事業

- ・「安全対策業務に従事する職員の人材育成に関する覚書」及び「信頼性調査に係る業務に従事する職員の人材育成に関する覚書」に基づき、薬剤部における長期研修及び治験管理部門におけるGCP長期研修を開始した。
- ・PMDAアジアトレーニングセンターのセミナーにおいて、NCGM職員が講演を行った。

令和5年度末現在